

交渉NEWS

東日本ユニオン東京地本 NO, 15 2020年 6月22日

申12号「新型コロナウイルス感染対策に関する緊急申し入れ」の交渉を行う。

6月18日、申12号「新型コロナウイルス感染対策に関する緊急申し入れ」の支社回答・交渉を行いました。

『誰もはじめての取り組み』を新型コロナウイルス感染対策では、職場や家庭で実践をしています。マスクや消毒薬品の調達・配布、お客様への呼びかけ・働きかけ、三密回避など、施策を企画・運営・運用することの決して100%とは言えません。

地本は支社に対して、申12号交渉の中で「現時点での取り組みの検証」を強く求めました。

社員とお客様のいのちを守るにはどうするのか？

現場は何を欲しているのか？

どこで何が必要なのか？

どのように調達・配布するのか？

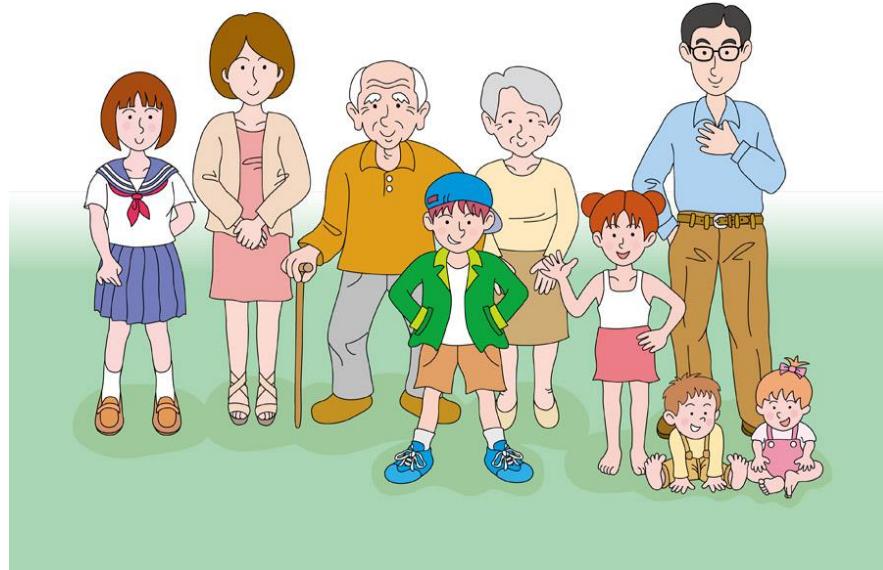
グループ会社はどのようにになっているか？

実践してきたことをトレースする中から、JR 東日本として東京支社としてより BEST なより有効的・具体的な方策を展開すべきあると重ねて要請しました。

本社・支社もはじめてのことをお客様と社員・家族のために実践しています。

まだまだ足りないことや足りないものも見えてきます。ガマンや遠慮も新型コロナウイルス感染対策には必要です。『知恵出し』『発信』は職場で働く私たちが行わなければ“役立たず”的なモノになってしまいます。

仲間たち・家族・お客様の笑顔のために、地本から支社に対して積極的に『問題提起』をしていきます。



マスクが無い！アルコールがない！ペーパータオルが補充されない！などなど JR 本体だけでなくグループ会社の否定的現状は改善していきます。

皆さんのお気づきと知恵だしそして発信で120%の安心を家族とお客様に提供していきましょう！
“たたかい”はここからはじまります。